

福生市の世論

— 要約版 —

【はじめに】

このパンフレットは、市民の皆様のご協力のもとに行われました『福生市政世論調査』のあらましです。

ご協力下さった方々に、心からお礼申し上げるとともに、調査結果がまとまりましたのでご報告いたします。今後、貴重な資料として市政運営に活用してまいります。

福生市長 石川 彌八郎

福生市 企画財政部 企画調整課

〒197 東京都福生市本町5番地

電話：0425-(51)-1511 (代表)

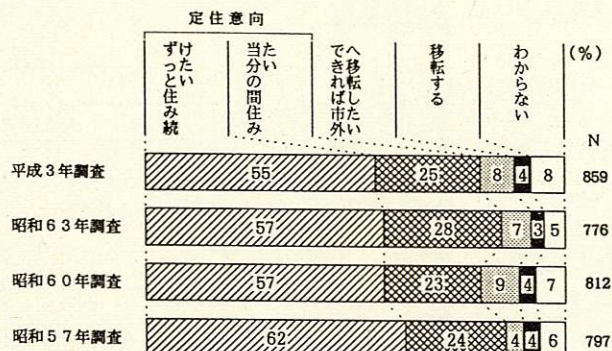
パンフレットの見方

- ・調査地域 福生市全域
 - ・対象者 市内在住満20歳以上個人
 - ・調査方法 個別面接法
 - ・回収数 859人
 - ・回収率 85.9%
 - ・調査期間 平成3年11月8日～11月20日
- ・この中の数値はすべて回答者全員を100%とした比率(%)です。
 - ・しかし計算の都合上四捨五入してあるので、%の合計は100%に満たない(または超える)場合があります。
 - ・また、複数回答の場合は合計が100%を超えるときがあります。
 - ・Nとは回答者数のことです。
 - ・このパンフレットは再生紙を使用しています。

定住意識

○ 定住意向

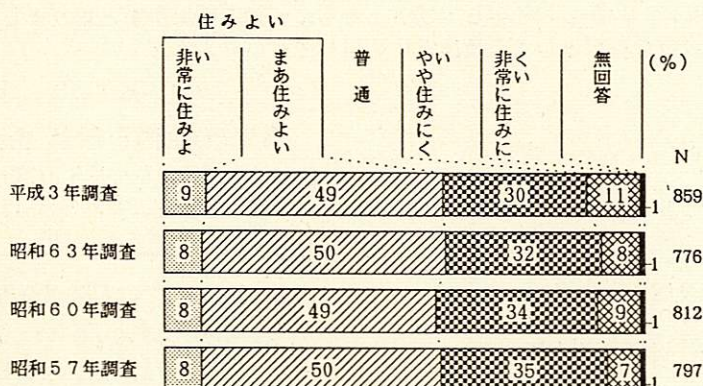
「ずっと住み続けたい」(55%)と「当分の間住み続けたい」(25%)を合わせた《定住意向》は80%で、昭和63年よりやや低下している。



生活環境評価

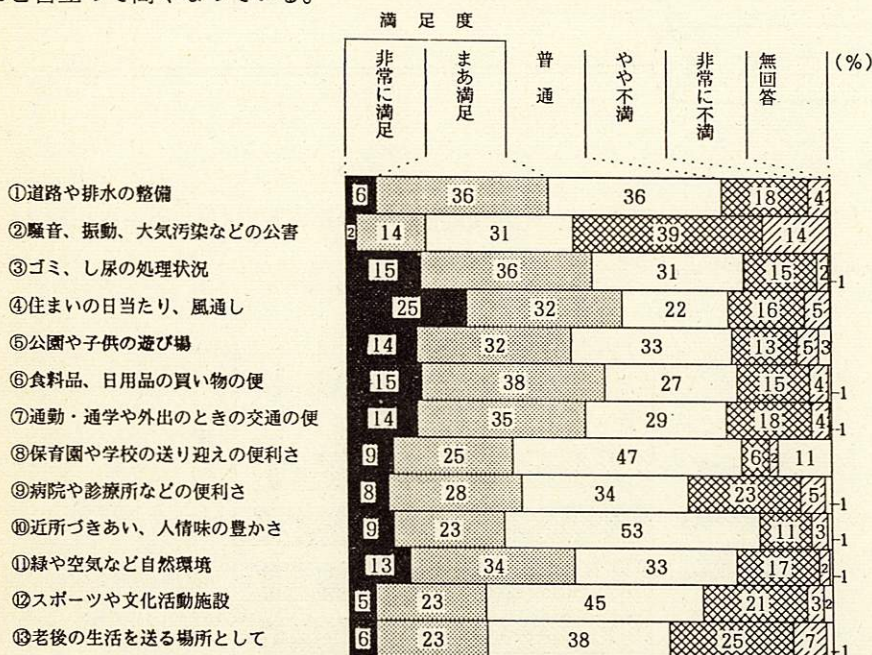
○ 住みよさ評価

「非常に住みよい」(9%)と「まあ住みよい」(49%)を合わせた《住みよい評価》は58%で、ここ数年、横ばい状態である。



○ 生活環境評価

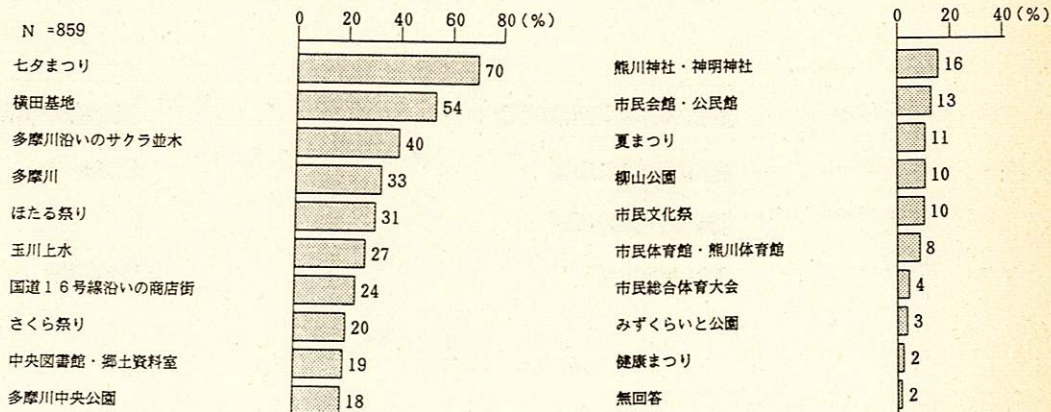
「非常に満足」と「まあ満足」を合わせた《満足度》の高い順でみると、「住まいの日当たり、風通し」が57%で最も多く、これに「食料品、日用品の買い物の便」が53%で次いでいる。一方、「やや不満」に「非常に不満」を合わせた《不満度》は、「騒音、振動、大気汚染などの公害」が53%と目立って高くなっている。



福生市の魅力

○ 福生市の魅力

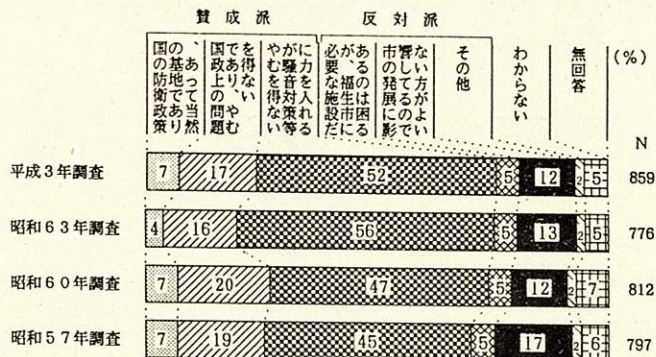
「福生市らしい魅力を感じる」施設・行事は、「七夕まつり」が70%で最も多く、以下「横田基地」(54%)、「多摩川沿いのサクラ並木」(40%)の順で続いている。



横田基地

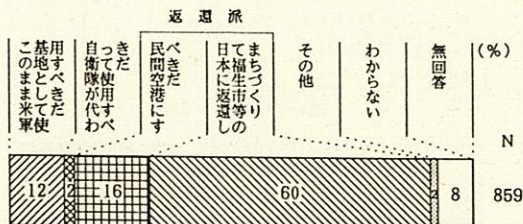
○ 横田基地の賛否

「やむを得ない」を含めて賛成派は76%と、昭和63年と変わらない。



○ 将来の横田市の在り方

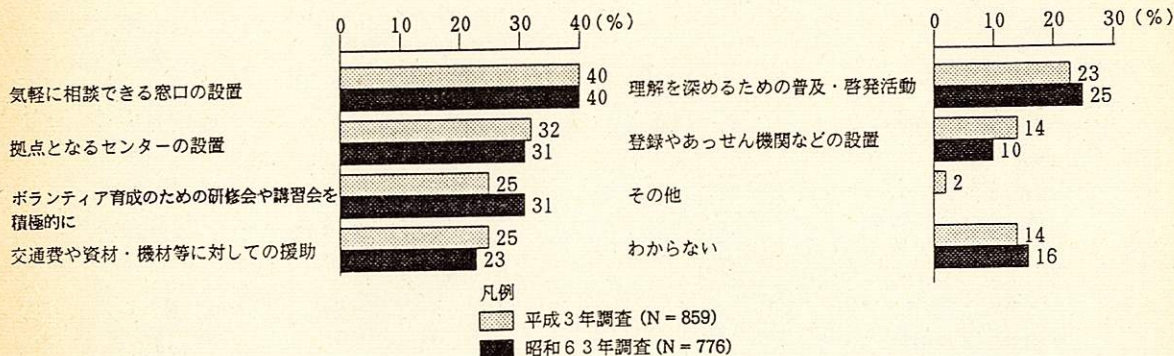
「日本に返還して福生市等のまちづくりに役立てるべきだ」が60%で、これに「民間空港にすべきだ」(16%)を合わせ《返還派》が76%を占めている。



ボランティア活動

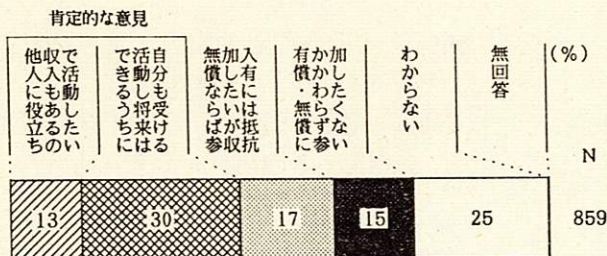
○ ボランティア活動の活発化のために力を入れるべきこと

昭和63年と同様、「気軽に相談できる窓口の設置」が40%で、第1位を占めている。



○ 有償福祉サービスについての意見

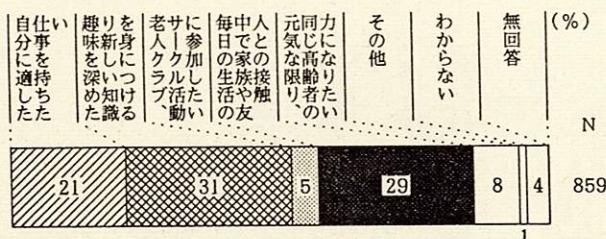
有償福祉サービスについては、「他人に役に立ち、収入もあるので活動したい」が13%で、これに「できるうちに活動し、将来は自分も受ける」(30%)を合わせると、43%の人が有償福祉サービスに肯定的な意見をもっている。



高齢化社会

○ 老後の生活

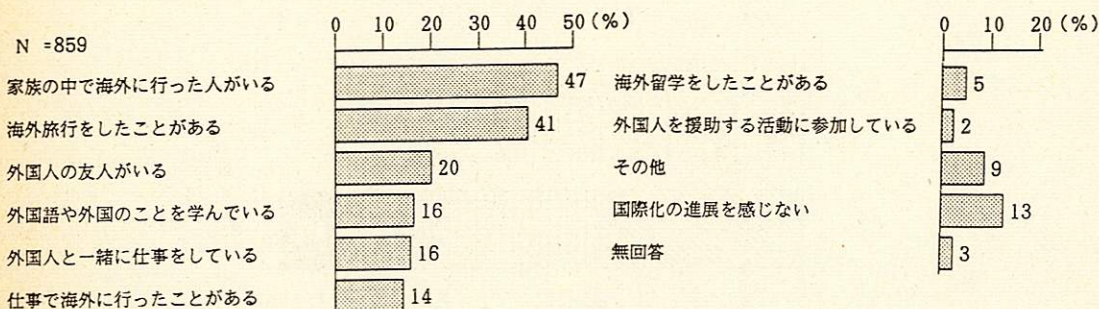
老後の生活としては、「趣味を深めたり、新しい知識を身につける」(31%)と「毎日の生活の中での家族や友人との接触」(29%)が、特に多くなっている。



国際化社会

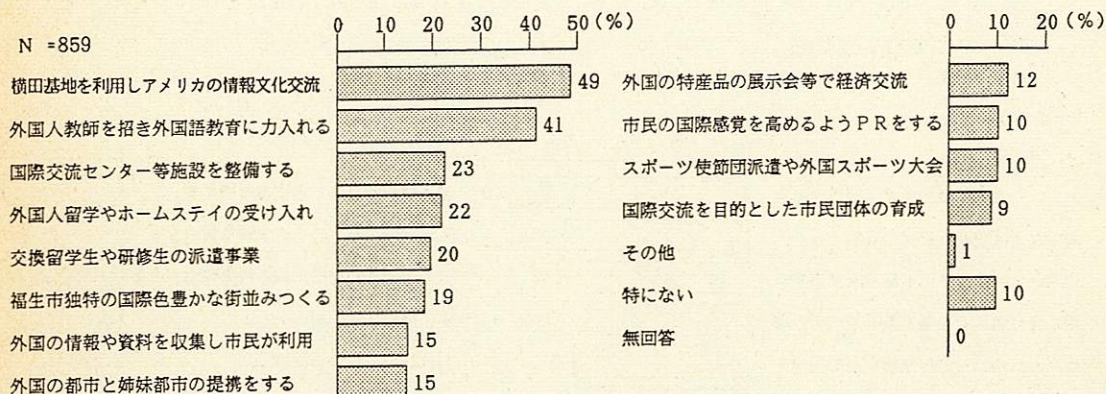
○ あなたのまわりの国際化

自分の周囲での、国際化を感じることは、「家族の中で海外に行った人がある」が47%で最も多く、これに「海外旅行をしたことがある」(41%)が次いでいる。



○ 国際化を進めるために市が力を入れるべきこと

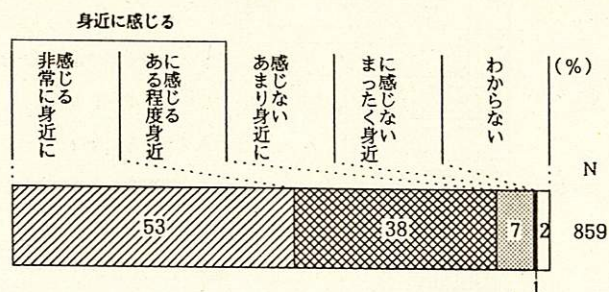
福生市が国際化を進めるには、「横田基地を利用し、アメリカとの情報文化交流」に力を入れるべきだという人が49%、「外国人教師を招き、外国語教育に力を入れるべきだ」という人が41%と、特に多くなっている。



ゴミ減量とリサイクル

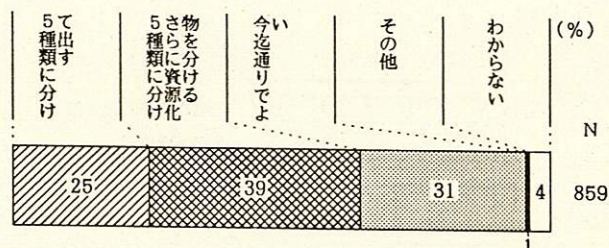
○ ゴミ問題に対する関心

ゴミ問題を「非常に身近に感じる」は53%で、これに「ある程度身近に感じる」(38%)を合わせると91%の人が身近に感じている。



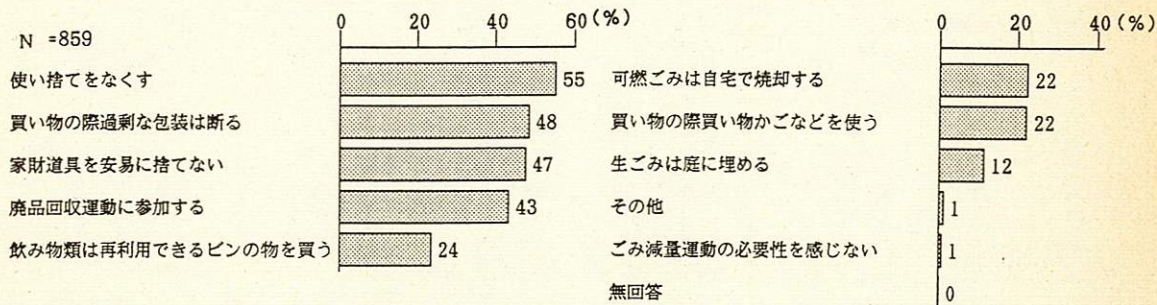
○ ゴミの分類についての考え方

ゴミの分類について、「5種類に分けて出す」べきだという人が25%で、これに「5種類に分け、さらに資源化物を分ける」(39%)を合わせると、64%の人が、さらに分別を進める方がよいとの考え方を示している。



○ ゴミ減量運動への協力

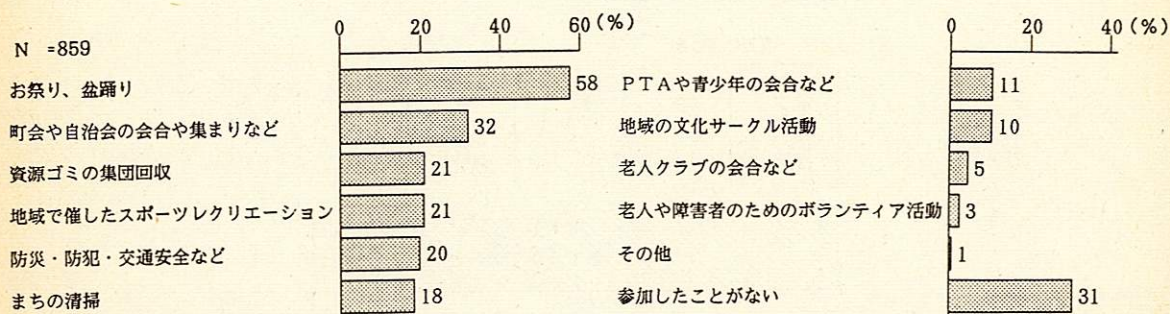
ゴミ減量運動への協力方法としては、「使い捨てをなくす」が55%で最も多く、以下「買い物の際、過剰な包装は断る」(48%)、「家財道具を安易に捨てない」(47%)の順で続いている。



地域交流

○ 過去1年間の地域活動・行事への参加

「お祭り、盆踊り」への参加度が58%と圧倒的に高い。



○ 特に力を入れてほしい施策

「騒音などの公害対策」への要望が38%と最も大きい。

